

4月1日から役場組織が変わります。

上島町では、より町民ニーズに対応できる役場を目指し、行政のスリム化・スピード化・効率化を図り、複雑化・多様化する事務事業へ適応するため、組織の見直しを行いました。役場は、平成22年4月1日から新しい体制でスタートしますが、住民の皆さんには、これまでどおり各支所の窓口で手続きや届出を行うことができます。

## 総合支所・分庁併用方式への移行

- ・現在、各支所に設置されている同じ課を一つの課に統合することで、指揮系統の一本化を図るとともに、業務内容の見直しによる課の再編を行います。

部制度の導入

- ・迅速かつ的確な事務処理を行うため、関係各課が統一された命令指揮のもと、共通認識を持ち連携・協力し合える体制を確立するため、部制度を導入します。

## ワンストップ行政サービスの推進

- 複数の手続きを行う場合に、複数の窓口での手続きが必要であったものを、できるだけ一箇所の窓口で完了できるようワンストップ行政サービスを推進し、住民サービスの向上を図ります。

## 【主な改正点】

- 各支所にあった同じ課を一つに統合したこと。  
(課の数 27課 → 14課)
  - 複数の課を統括するため、3つの部を設置したこと。
  - 弓削支所のみにあった生活事業課を廃止し、その業務を住民課・建設課・総務課へ移したこと。
  - 総務課及び企画情報課の業務を見直し、総務課・企画政策課・広報情報課を設置したこと。
  - 上下水道課を廃止し、上水道、下水道、船舶、バスの事業を総括する公営事業課を設置したこと。



